

運転と地域内移動における作業療法 Occupational Therapy in Driving and Community Mobility 2019

### この文書の目的のための概説

この文書は運転と地域内移動に関する世界作業療法士連盟(WFOT)の考えを表明する。運転は、車をコントロールし操作する能力と定義される。車には動力をもつもの(自動車やモーターサイクルなど)も動力をもたないもの(自転車など)もある。地域内移動には、他者が運営する交通が含まれ、共同で使う車(トゥクトゥク、バス、タクシー、鉄道など)が含まれる<sup>1</sup>。

### とるべきポジションの声明

運転能力は、自立、実行機会、自由の行使、自律的であること、豊かさの共有といったことの象徴であるが、一般的には免許が必要である<sup>1</sup>。しかし、地域内移動は、すべての人の権利である<sup>2</sup>。地域内移動は、その方法に関わらず、サービスや物品へのアクセスをするとき、個人が市民であり、社会や地域での生活のために必須である。これは社会参加を拡大し、健康を促進し、幸福を増進し、参加を可能にする。そのため、個人が運転に適合するようにすることで、運転と地域内移動、両方の実践領域を強調することを、WFOTはサポートする<sup>3</sup>。あるいはそれが不可能なら、個人は移動の仕方に関わらず、地域に結び付くためのオプションを提示される。

### 作業療法にとってのポジションの重要性についての声明

運転と地域内移動が、作業療法に重要である理由は次の通りである。

- 人と作業と環境の関連を理解している作業療法士は、価値がありエビデンスから得た情報によるサービスを提供する。それは、障害を通して、さまざまな状況において、クライアントの運転と地域内移動の参加を最適化するためである。
- 作業療法士は、手段的日常生活活動の評価、計画、実行の専門家であり、クライアントが運転と地域内移動に結び付くことをサポートする能力をもつ。
- 作業療法実践の視野は、作業療法士が運転リハビリテーションの専門的な研修を受けていなくても、運転と地域内移動において機能的で安全で現実的でクライアント中心の成果を出していくことを可能にする。
- 運転と地域内移動が公的な環境で行われるとき、作業療法士は個人の安全リスクを考慮しなければならない。そして障害のある遂行に伴う潜在的な危険を警告する倫理的義務がある。そのために、免許を失ったときに生じる自立、自由、アイデンティティの損失というリスクとのバランスをとる。

### 社会にとってのポジションの重要性についての声明

運転と地域内移動についてのWFOTのポジションは、より広範な社会にとって重要である。それは、個人の健康と公衆衛生に広く影響するからである。

- 運転は特権であり、医学的、法的、公衆衛生的、社会的、経済的、安全の観点で考えなければならない。
- リスク(医学的リスクなど)のある運転者は、差別なく、エビデンスからの情報により、公平な評価と介入にアクセスできるようにしなければならない。運転の適合性を改善したり、運転以外の移動計画を提案したりしなければならない<sup>3</sup>。
- 地域内移動は、すべての個人の権利なので、作業療法士は、クライアントが地域の中で作業ニーズを、どのように充足することができるかを強調していかなければならない。
- 作業療法士は、クライアントの権利を守るために移動の促進(免許関連機関など)に関わる関係者と連携していかなければならない。
- 作業療法士は、インクルーシブで(医学的状态に基づく差別ではないなど)、社会的に公正で、公衆の安全も守るような意思決定を確実にするために、政府方針や免許資格に影響を与えるかもしれない。

### 要約と結論

運転と地域内移動は、世界の作業療法士の大きな関心事であり、国際的な境界を越えて、文化的に関連性があり、エビデンスからの情報による実践を行う必要がある。運転と地域内移動を強調するために、作業療法士は積極的に取り組み、臨床実践ガイドラインを開発する人に協力し、研究に参加し、方針や制度に影響を与えなければならない。

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-in-driving-and-community-mobility> (2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

#### 文献

1. Driving and community mobility. *American Journal of Occupational Therapy*. 2016; 70. Available from: doi:10.5014/ajot.2016.706S04
2. AOTA. Occupational Therapy Practice Framework: Domain and Process. (2014). *American Journal of Occupational Therapy*. 2014; 68, S1-S48. Available from: doi:10.5014/ajot.2014.682006
3. Transportation Research Board of the National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine. Taxonomy and Terms for Stakeholders in Senior Mobility. Transportation Research Circular No.E-C211. Washington, DC; 2016.

執筆者(リーダーが最初で、次はアルファベット順)

Sherrilene Classen (United States of America / South Africa)

Liliana Alvarez (Colombia)

Anita Bundy (United States of America)

Anne Dickerson (United States of America)

Isabelle Gélinas (Canada)

Asako Matsubara (Japan)

Ann-Helen Patomella (Sweden)

Beth Pfeiffer (United States of America)

Pamela Ross (Australia)

Elin Schold-Davis (United States of America)

Lizette Swanepoel (South Africa)